

加茂水産高等学校 SPH通信



第16号

H30.1.26 発行



HP <http://www.kamosuisan-h.ed.jp/> FaceBook

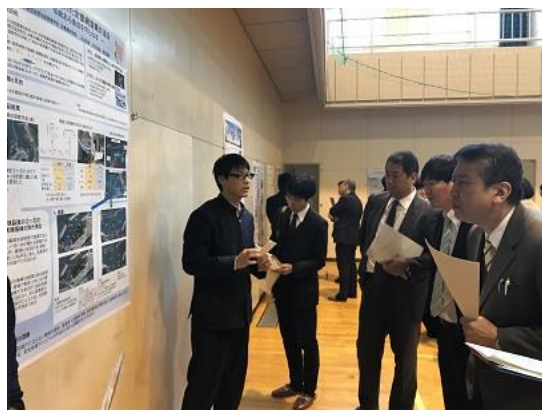


SPH中間報告会を終えました

平成29年11月22日（水）、本校体育館においてSPH中間報告会が開催されました。この会は今年度のこれまでの研修成果のまとめでもあります。SPH指定3年間で締めくくる最後の成果発表会（平成30年1月27日）に向けたリハーサルとも位置づけられます。7名の運営指導委員をはじめ、他校、同窓会、保護者、地域の方々等、50名を超える参加がありました。



初めてポスター発表に挑戦



大人が見ても面白い

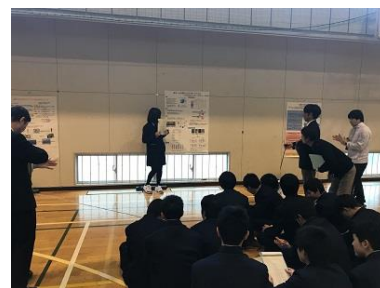
これまではステージ上で生徒がスライドを説明するプレゼンテーション型の発表が主でした。準備した研究内容・研修成果を時間内で工夫して伝える技能は向上してきたのですが、前回、次はポスター発表に挑戦しては、と運営指導委員の助言がありました。一人一人が自分のポスターの前に立ち、目の前の方々に直接自分の言葉で伝え質問に答える形式の発表です。そこで今回はポスターセッションをメインにし、ほぼすべての3年生が1、2年生や外部の方々に向けてポスター発表を行いました。発表

の生徒たちは間近に迫ってくる聞き手に対しても一生懸命に発表し、よい経験を積んでいました。



他校生徒との発表交流も

また、今回初めて、山形県立鶴岡南高等学校の3組の研究班もポスター発表に加わっていただきました。鶴岡南高等学校では、平成24年以来2期連続してスーパー・サイエンス・ハイスクールに認定され、生徒全員で探究活動が行われています。今回参加した『「漁獲方法の異なるマダイの鮮度評価」について』等、他校生の発表に本校生も興味津々でした。実はこれまでに、本校の研究班も鶴岡南高等学校をはじめ他校の発表会にいくつか参加しています。同じ地域で同様に研究に学ぶ高校生たちが、学校の垣根を超えてお互い刺激し合って向上してゆければ、と期待します。



他校生の発表に聞き入る水高生



SPH通信17号の予定

次号では、福井県ベニズワイガニ加工品研修 についてお伝えします。